

# 茨城県結城市立江川南小学校（学校長 塙 文雄）

実施日	平成19年10月2日（火）	時間	午前9時30分～午後1時30分
実施場所	教室，体育館	対象/人数	6年生17名
担当教諭	後藤 圭一	ファシリテーター	辻 真利子
講師	セヴェリン・ラウリッツ・ガーフィン（スイス・留学生） アレジャンドロ・マルティネツ・トリオ（スペイン・留学生）		

## 活動内容

- ・スイスの教育システムのお話、スイスの地理について、「ちょうちょ」の元歌「小さなハンス」を歌う、ドイツの言葉を紹介、ゲーム
- ・スペインの闘牛、フラメンコ、サッカーの話、コロンブスの話、スペイン語の歌の紹介、ゲーム

## 児童の感想

- ・アレックス先生とスペインのジャンケンやゲームをやりました。とても面白かったです。スペインのお金をもらってうれしかったです。スペインで有名なフラメンコの衣装も着ることができてとても楽しかったです。
- ・スペインでは、たくさんの日本のアニメがテレビで放映していて人気があることが分かりました。
- ・セヴィ先生は、スイスの山や建物が載っている本やスイスの絵本を見せてくれたり、生活の様子を話してくれたりしたのでスイスに行ってみたいと思いました。
- ・セヴィ先生の話聞いて、スイスのチーズは日本で食べているチーズよりもかびくさいというのを聞いて、スイスのチーズを食べてみたいと思いました。

## 先生の感想

・6年生は、総合的な学習で「国際理解」を学習していますが、本やインターネットで行う調べ学習だけでは分からないところや不十分なところがあったので、今回のワールドキャラバンは児童にとってとても貴重な体験となりました。スイスのセヴィさんもスペインのアレックスさんも分かりやすく、熱心にご自分の国のことについて話してくれました。写真を使ったり、児童が興味をもてるような自国のお金や本を実際に持ってきていただくなどの工夫をしていただいて、児童は集中して先生方の話を聞いていました。2人の先生から聞いたことや体験したことを、自分なりにもっと調べたいという感想を多く聞くことができました。視野も広がり、知識も深まる有意義な活動になりました。

## 成果と課題

- ・事前にスイスとスペインの文化や生活の様子などを調べておき、二つの国に関心を持たせて交流することができたので、意欲的に活動できました。本やインターネットを使った調べ学習では不十分な所を質問できたので、児童に新しい発見がありました。
- ・ファシリテーターの方と事前に詳しい打ち合わせをすることができたので、本学級の児童の実態にあった活動や体験的な活動ができ、児童の心に残る活動になりました。
- ・今まで学習したことや今回のワールドキャラバンで体験したことや得た知識を保護者や地域の方々の前で発表する機会を作りたい。また、国際社会に目を向け、自分たちができることについて今後の総合的な学習の時間で取り上げていき、実践したいと思います。

